

2023年度聖学院大学自己点検・評価(総括)

聖学院大学内部質保証推進 IR 委員長

① 2023 年度聖学院大学自己点検・評価 概要

(目的)

聖学院大学は、聖学院大学 内部質保証推進 I R委員会内規第 1 条第 1 項に定める「大学学則第 2 条に定める本学の設立目的及び社会的使命を達成するため、本学の教育研究活動等の状況を把握したうえで、教育研究の改善に努めること」を目的とし、自己点検・評価を実施する。

(体制)

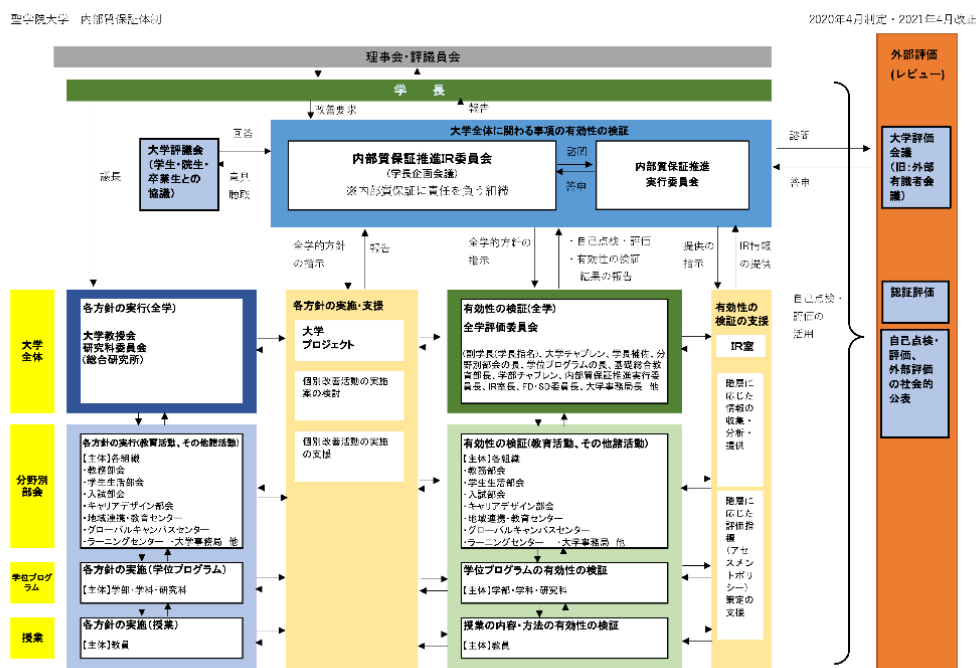
聖学院大学における自己点検・評価は、聖学院大学 内部質保証推進 I R 委員会内規第 11 条第 1 項に定めるとおり、内部質保証推進 IR 委員会から全学的方針の指示を受けて設置される全学評価委員会が実施する。各組織は、全学評価委員会の指示を受け、それぞれ所管する事項について、自己点検・評価を実施する。全学評価委員会構成員は、聖学院大学内部質保証推進 I R 委員会内規第 11 条 3 項により組織される。

聖学院大学 大学評価

<https://www.seigakuin.jp/about/disclosure/evaluation/>

聖学院大学 内部質保証方針

https://www.seigakuin.jp/about/disclosure/evaluation/evaluation_01/



(自己点検・評価制度)

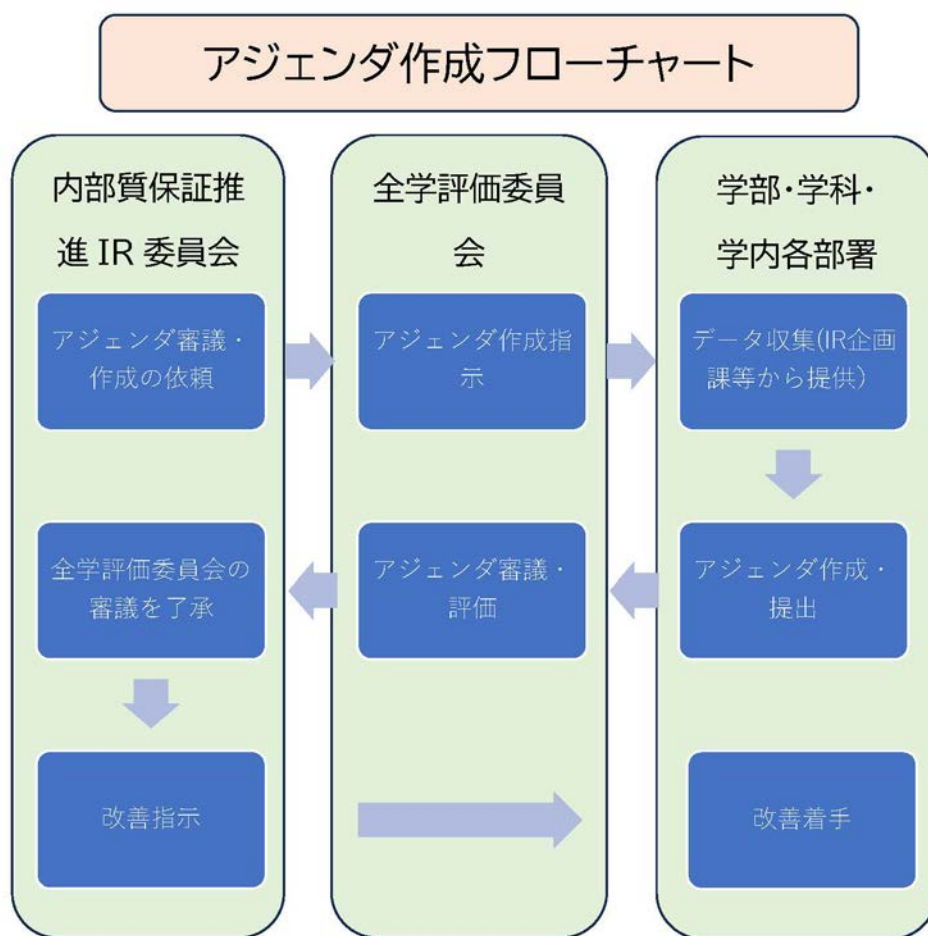
聖学院大学内部質保証推進IR委員会内規第2条のとおり、自己点検・評価は本学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備に係る組織の全てにおいて実施し、各組織は、IR室より提供される客観的な根拠資料又はデータに基づき、教育研究等の状況を組織的かつ定期的に把握し、改善に努めることとしている。

2020年度より本学は新たな内部質保証体制を構築した。内部質保証推進IR委員会より諮問を受けた内部質保証推進実行委員会は「聖学院大学アセスメントポリシー」の内容を含めた部署別の自己点検・評価項目を作成し、この項目を中核として内部質保証推進IR委員会は自己点検・評価制度を改定した。2023年度は、この自己点検・評価の実施3年目となる。

なお、自己点検・評価時に各組織から寄せられた意見をもとに、2023年度は自己点検・評価項目の修正、アセスメントポリシーの評価基準、評価指標の修正を行ったことを付言する。

② 2023年度自己点検・評価 実施内容

2024年2月14日・2月22日内部質保証推進IR委員会決定の2023年度自己点検・評価方針に基づき、以下の通り自己点検・評価を実施した。全体の流れは以下のフローチャートのとおりである。



I、各組織の自己点検・評価・アジェンダ作成（2024年3～5月）

- ① 全学的観点から設定された部署別の自己点検・評価項目により自己点検・評価を実施。
- ② ①を踏まえて当該年度のアジェンダを総括。評価が3～5の場合は必ずコメントする。
- ③ ②を踏まえて新年度のアジェンダ（改善計画）を作成。

自己点検・評価項目には「聖学院大学アセスメントポリシー」の内容を含め、アジェンダをより総合的にしている。また自己点検・評価項目は、1. 教育研究組織、2. 入学者選抜、3. カリキュラムの内容・学修方法・学修支援又は学修成果（教育課程・学修成果）、4. 学生支援、5. 社会との接続、6. 施設・設備とした。

＜聖学院ビジョン 2023-2027(法人第2期中長期計画)に対する各組織プラン策定＞

聖学院ビジョン 2023-2027(法人第2期中長期計画)の策定時、聖学院大学では、ビジョン実行プランを担当する学内組織を指定した。

自己点検・評価/アジェンダ作成の際に、ビジョン実行プランに対する各組織の実行プラン（自組織プラン）も合わせて策定し、年度末にプランの達成状況を自己評価する。

II、全学評価委員会による自己点検・評価の確認評価（改善案を含む）（2024年5～6月）

Iで行われた各組織の自己点検・評価・アジェンダを、全学評価委員会により確認・評価を行い、全学評価案を各組織に戻し、各組織において修正を行った。

当初、全学評価案及び各組織の確認修正期間を6月12日までとしていたが、全学評価案における指摘・修正指示が多数あったため、各組織の確認修正期間を6月26日までに延長し、各組織から再提出された自己点検・評価修正案に対する全学評価案の再評価を行い、最終的な全学評価案を別紙1のとおりまとめた。

III、内部質保証推進IR委員会による2023年度自己点検・評価の指摘・改善への助言（2024年7月）

各組織の2023年度自己点検・評価、2023年度アジェンダ総括・2024年度アジェンダ、聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括、聖学院ビジョン2024年度自組織プランについて、全学評価委員会の確認のとおり、概ね妥当であると判断し、指摘・改善への助言事項についても全学評価委員会の全学評価案を承認する。

内部質保証推進IR委員会は、上記全学評価委員会による全学評価に重ねて、以下の点について、各組織に改善活動を推進するよう指示する。

（学生募集状況の改善）

学部・学科・研究科・入試部委員会の自己点検・評価、アジェンダ総括/聖学院ビジョン自組織プラン総括において、学生の募集状況に関する問題を把握し、改善計画及び活動の結果について、おおむね適切な評価がなされている。学生募集において、2024年度アジェンダ・自組織プ

ランに基づく活動を進めていただきたい。

加えて、2024 年度入試における大学全体の入学定員充足率は目標に届かず、困難な状況が継続していることから、学部・学科・研究科においては、学科・入試部委員会を始めとする学内組織・事務局と連携し、2024 年 9 月に予定している夏期運営委員会における幹部教職員との意見交換、2024 年 7 月に受審する外部評価（大学評価会議）における高校・地域社会等からの意見・評価・提言を取り入れ、当初計画にない提案、過去に取り組んでいない提案に対しても耳を傾け、自組織の課題を確認し、学生募集状況の改善に向けた努力を進めていただきたい。

（2025 年度教育課程編成方針に基づく教育課程の編成）

2024 年 6 月 12 日大学教授会において、2025 年度教育課程編成に関する全学的な方針について学長より説明がなされたとおり、2023 年度自己点検・評価における聖学院ビジョン 2024 年度自組織プランに基づき、各組織の計画を着実に実施いただきたい。

加えて、学部学科・基礎総合教育部・センター・委員会において、2025 年度からの入学定員削減を新たな教育の魅力・価値を創出する契機とし、現在進められている大学プロジェクト等との連携を図りつつ、教育課程編成の検討を進めていただきたい。

2024 年度の改善活動を進める中で、改善活動が成果に結びついているかを経過観察し、それを踏まえて改革を進めていただきたい。

IV、2023 年度自己点検・評価における内部質保証推進 I R 委員会のマネジメントの適切性の自己評価 (2024 年 7 月)

2023 年度自己点検・評価(2023 年度アジェンダ総括・2024 年度アジェンダ作成・聖学院ビジョン 2023 年度自組織プラン総括、聖学院ビジョン 2024 年度自組織プラン作成)において、内部質保証推進 IR 委員会における PDCA サイクルのマネジメントは適切に行われたと判断する。

特に、2022 年度自己点検・評価を踏まえてアセスメントポリシーや自己点検・評価項目の修正を行って自己点検・評価を指示し、また各組織から提出された自己点検・評価案に対して、全学評価委員会の全学評価案において多くの修正指示を行い、評価案の修正を行った。

一方で、今回全学評価案の再修正等に伴う日程変更を行ったこと、また F D・S D 委員会から、聖学院ビジョン実行プランにおける教員の I C T 活用に関する項目について指摘がなされたことを受け、次回自己点検・評価に向けて、評価項目・実行プランや実施スケジュールの検討を行う。

以上

2023年度自己点検・評価（全学評価委員会確認・評価）案

自己点検評価を行う組織	「①自己点検評価」の点検結果・所見	「②2023年度アジェンダ総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「③2024年度アジェンダ」に対する所見（指摘・改善への助言）	「④聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」に対する所見（指摘・改善への助言）
01-1学長企画会議	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 内規の改正を通じて担当者、構成員の適切化が図られている。	「③2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 構成員の改正や内規の修正を通じた改善を今後も継続していただきたい。	「④2023年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 改正大学設置基準に応じて、大学プロジェクト「大学設置基準改正対策」を設置し、基幹教員制度などに対応した学則の変更がなされたことはとりわけ重要であったと言える。	「⑤2024年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 大学プロジェクト「大学設置基準改正対策」の方針に基づく今年度予定される内規の改正、および2025年度の教育課程編成の方針の検討は、ともに大学の基本方針にかかわる重要な役務である。
02-1政治経済学部	「自己点検・評価」の内容は妥当である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。特にAPを改正し内外に公表されたことは評価できる。	「③2024年度アジェンダ」の内容は概ね妥当であるが、昨年度末に退任された教員の補充がなかった点について、現有人員での措置を検討することは妥当と思われる。	「聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」について、達成状況を適切に評価されている。	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」は妥当である。
02-2人文学部	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 特に「7その他（研究等）」において学生の募集状況の問題意識を学部として共有し、着実な改善がみられた点は評価できる。厳しい状況は継続しているが、Q2の社会の要請との適合についての検討もあわせさらなる改善が期待される。 （指摘・改善への提案） なし	「③2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 特に「3教育課程・学修成果」において、教育の質保証を重視し、さらなる改善をはかる点は評価される。3学科での検討を踏まえ、人文学部としての具体的な改革の動きがなされるよう期待したい。 （指摘・改善への提案） アジェンダにも示されているとおり、定員割れの状況からの回復をいかに図るかという困難な課題を抱えており、学部外の各部署の連携も含め引き続き改善の努力が求められる。	「④2023年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 特に「実行プラン01A1」においてアドミッションポリシーの見直し、修正が人文学部として3学科が足並みをそろえて着実になされている。また、入試戦略会議を継続して行うことで反省的に課題を認識し、改善を図っている点は評価できる。 （指摘・改善への提案） なし	「⑤2024年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 特に「実行プラン01A1」において、定員削減を新たな教育の魅力・価値を創出する契機とし、学部として具体化していく計画を測ることは重要であり、適切である。 （指摘・改善への提案） なし

2023年度自己点検・評価（全学評価委員会確認・評価）

自己点検評価を行う組織	「①自己点検評価」の点検結果・所見	「②2023年度アジェンダ総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「③2024年度アジェンダ」に対する所見（指摘・改善への助言）	「④聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」に対する所見（指摘・改善への助言）
01-1学長企画会議	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 内規の改正を通じて担当者、構成員の適切化が図られている。	「③2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 構成員の改正や内規の修正を通じた改善を今後も継続していただきたい。	「④2023年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 改正大学設置基準に応じて、大学プロジェクト「大学設置基準改正対策」を設置し、基幹教員制度などに対応した学則の変更がなされたことはとりわけ重要であったと言える。	「⑤2024年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 大学プロジェクト「大学設置基準改正対策」の方針に基づく今年度予定される内規の改正、および2025年度の教育課程編成の方針の検討は、ともに大学の基本方針にかかわる重要な役務である。
02-1政治経済学部	「自己点検・評価」の内容は妥当である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。特にAPを改正し内外に公表されたことは評価できる。	「③2024年度アジェンダ」の内容は概ね妥当であるが、昨年度末に退任された教員の補充がなかった点について、現有人員での措置を検討することは妥当と思われる。	「聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」について、達成状況を適切に評価されている。	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」は妥当である。
02-2人文学部	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 特に「7その他（研究等）」において学生の募集状況の問題意識を学部として共有し、着実な改善がみられた点は評価できる。厳しい状況は継続しているが、Q2の社会の要請との適合についての検討もあわせさらなる改善が期待される。 （指摘・改善への提案） なし	「③2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 特に「3教育課程・学修成果」において、教育の質保証を重視し、さらなる改善をはかる点は評価される。3学科での検討を踏まえ、人文学部としての具体的な改革の動きがなされるよう期待したい。 （指摘・改善への提案） アジェンダにも示されているとおり、定員割れの状況からの回復をいかに図るかという困難な課題を抱えており、学部外の各部署の連携も含め引き続き改善の努力が求められる。	「④2023年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 特に「実行プラン01A1」においてアドミッションポリシーの見直し、修正が人文学部として3学科が足並みをそろえて着実になされている。また、入試戦略会議を継続して行うことで反省的に課題を認識し、改善を図っている点は評価できる。 （指摘・改善への提案） なし	「⑤2024年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 特に「実行プラン01A1」において、定員削減を新たな教育の魅力・価値を創出する契機とし、学部として具体化していく計画を測ることは重要であり、適切である。 （指摘・改善への提案） なし

2023年度自己点検・評価（全学評価委員会確認・評価）

自己点検評価を行う組織	「①自己点検評価」の点検結果・所見	「②2023年度アジェンダ総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「③2024年度アジェンダ」に対する所見（指摘・改善への助言）	「④聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」に対する所見（指摘・改善への助言）
02-3心理福祉学部	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容はおおむね妥当である。充実した教育を展開するための礎となる教職員の定年退職、依願退職が相次いだという事態に対して、適切な対応を取っている。	「③2024年度アジェンダ」の内容はおおむね妥当である。定年退職教員の後任人事や該当者の昇任審査など、予想される課題に対する備えが示されている。	「④聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」の内容はおおむね妥当である。学部改組から5年を経過したという時期を捉えて、3つのポリシーの見直しを行ったこと、新たな資格（スクールソーシャルワーク）分野で活躍する人材育成に向けて、教育課程の認証を取得したことは適切であると判断できる。	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」の内容はおおむね妥当である。2024年度の自組織プランは、学修目標の具体化、教育課程編成の推進という実行プランの項目に即して計画されており、適切であると判断できる。
03-1基礎総合教育部	自己点検・評価内容は妥当である。 （指摘・改善への助言）なし	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言）なし	「③2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 「Q5」について、基礎総合教育部に関連する人事のプロセスの透明化への取り組みの成果が俟たれる。 （指摘・改善への助言）なし	「④2023年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言）なし	「⑤2024年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言）なし
04-1政治経済学科	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容はおおむね妥当である。特に学科の状況を踏まえた新たな学科スローガンの構築や履修モデルのテーマ別の策定は改善に向けた効果を期待させるものであり、評価できる。 （指摘・改善への提案）なし	「③2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。特に見直しが行われたゼミ満足度やカリキュラムの対象科目の効果について、データや意見聴取による具体的な中間評価を行い、さらなる展開を図る点は評価できる。 （指摘・改善への提案）「リーダーシップ」や「数量的スキル」の向上についての取り組みはやや具体性を欠いているが、「2023年度アジェンダ総括」にもある自己肯定感を高めるための取り組みと合わせて具体的に進められるよう期待する。	「④2023年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。特に留学生タスクフォースの立ち上げとそれによる課題の洗い出しの取り組みは重要である。 （指摘・改善への提案）なし	「⑤2024年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。2023年度時点で達成度の低い項目も見受けられるが、具体的な目標が設定されており、着実な実行を期待したい。 （指摘・改善への提案）なし

2023年度自己点検・評価（全学評価委員会確認・評価）

自己点検評価を行う組織	「①自己点検評価」の点検結果・所見	「②2023年度アジェンダ総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「③2024年度アジェンダ」に対する所見（指摘・改善への助言）	「④聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」に対する所見（指摘・改善への助言）
04-2欧米文化学科	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 「チームワーク，リーダーシップ」について卒業生の就職先によるアンケートでは一定の評価が得られているものの，卒業生自身の評価では低くなっており，そのことが学科の課題として適切に認識されている。 （指摘・改善への提案） なし	「③2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 特に，学生の主体的参加を促すための基礎ゼミでの授業内容や学生の履修指導の強化について，具体的な展開がなされる点は評価できる。定員変更に応じた専任教員の配置について具体的な検討が行われるということで，できるだけ早期に学科のプランが練られることが期待される。 （指摘・改善への提案） なし	「④2023年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 実行プランの実現に向けた学科としての具体的な取り組みが行われており評価できる。既に高い達成率となっている項目が複数あるが，目標を超えた取り組みもなされるとよいだろう。 （指摘・改善への提案） なし	「⑤2024年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 「03A1」や「05A1」などの学生募集に関する点は厳しい状況であるが，オープンキャンパスでの「アクティブ・ラーニング」を取り入れた模擬講義の充実化や「英検対策」の取り組みは成果につながる期待を感じさせるものである。 （指摘・改善への提案） なし
04-3日本文化学科	自己点検・評価内容はおおむね妥当である。GPS-Academic等の調査結果のデータをふまえた点検・評価がなされている。入学者数の推移については，専門性重視の教育方針が成果をあげつつあるとの認識が示されている。この点については，今後の点検・評価で引き続き検討していくことを望む。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容はおおむね妥当である。特に「2．入学者選抜」「3．教育課程・学修成果」において，先年度に実施したカリキュラム改革と卒業時アンケート結果との関連性を分析したことは評価される。	「③2024年度アジェンダ」の内容はおおむね妥当である。「Q3」のGPS-Academicの設問「あなたが現在所属する学部・学科・コース等の学問分野と、あなたの興味関心とは一致していますか」の値が80%にわずかに届かなかったことについて、後任不在となっている専門分野の影響ではないか、との仮説を立てている。この仮説の妥当性の検証を、続けていただきたい。	「④聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」の内容はおおむね妥当である。	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」の内容はおおむね妥当である。とくに、高大連携プログラムにおいて、聖学院高校への出張授業の実施など新しい取り組みを計画していることは適切であると判断される。
04-4子ども教育学科	「①自己点検評価」の結果は適切である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は妥当である。	「③2024年度アジェンダ」は妥当である。	「④聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」は概ね妥当である。	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」は妥当である。

2023年度自己点検・評価（全学評価委員会確認・評価）

自己点検評価を行う組織	「①自己点検評価」の点検結果・所見	「②2023年度アジェンダ総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「③2024年度アジェンダ」に対する所見（指摘・改善への助言）	「④聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」に対する所見（指摘・改善への助言）
04-5心理福祉学科	自己点検・評価内容は妥当である。点検・評価の諸項目に対して、真摯に検討したことがうかがわれる。改善に向けての施策も適切であると思われる。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容はおおむね妥当である。卒業時アンケートに見られた結果に対して、誠実な分析がなされている。4年間での卒業率に対しても、学科の状況に即した評価をしており、数字の改善を求めることを是とする行き方に疑問を投げかけている点は傾聴に値する。	「③2024年度アジェンダ」の内容はおおむね妥当である。卒業時アンケートの結果に対し、チームワーク、リーダーシップが育つようなグループワーク、ロールプレイを授業に取り入れる、学びが社会実践につながることをイメージさせる、といった改善に向けての解決策が示されており、適切であると判断できる。	「④聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」の内容はおおむね妥当である。高校への出前授業の教員派遣数、高校訪問数など先年度に行った諸施策の振り返りがデータに基づいてきちんとなされていることから、適切であると判断できる。	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」の内容はおおむね妥当である。「AI時代を生き抜く学びと進路をアピール」など時機にかなった戦略で訴求する資格分野と、資格取得の有無にかかわらず将来を描ける観点からの募集といったバランスの取れた入試広報計画を立てており、適切であると判断できる。留学生に向けても具体的な広報施策が立てられており、成果が期待される。
05-1政治政策学研究科	「①自己点検評価」の内容は妥当である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は妥当である。	「③2024年度アジェンダ」の内容は妥当である。	「④聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」の内容は適切である。	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」については妥当である。
05-2文化総合学研究科	自己点検・評価内容はおおむね妥当である。教育課程の充実化については、「コース」の整備とそれに関わる教員の再配置により図られたものと理解できる。その効果については、2024年度、プランの遂行結果を見たうえで、今後の計画修正等がなされるものと期待する。その際、学修成果のデータを情報公開していく方途についても検討されることを期待する。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容はおおむね妥当である。特に教育課程の編成・実施方針について、2023年度の一連の改革によりカリキュラムの再構成を完遂したことは評価できる。	「③2024年度アジェンダ」の内容はおおむね妥当である。博士後期課程に所属する大学院生の指導を行うという、文化総合学研究科に固有の責務に真摯に向き合い、改善を進めている。こうした努力が実を結び、適正な在籍者レベルを確保することを期待したい。	「④聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」の内容はおおむね妥当である。	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」の内容はおおむね妥当である。2023年度に行った諸改革を検証する年度であり、期待される成果が上がることを祈念する。研究公正、研究倫理の観点からの研究推進体制の整備や入試広報について指摘された、大学院全体での取り組みの必要性は、重要である。今後、3研究科合同での取り組みを強化することが求められる。
05-3心理福祉学研究科	自己点検・評価内容は妥当である。 （指摘・改善への助言）なし	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言）なし	「③2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言）なし	「④2023年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言）なし	「⑤2024年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言）なし
06-1総合研究所	適切に評価されている。	適切な総括である。	特になし。	適切に総括されている。	特になし。

2023年度自己点検・評価（全学評価委員会確認・評価）

自己点検評価を行う組織	「①自己点検評価」の点検結果・所見	「②2023年度アジェンダ総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「③2024年度アジェンダ」に対する所見（指摘・改善への助言）	「④聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」に対する所見（指摘・改善への助言）
07-1総合図書館	自己点検・評価内容は妥当である。アジェンダについては、回答がすべて1または2であるため、IR委員会の指示どおり、空白のまま提出されたと判断する。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案） なし	「③2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案） なし	「④2023年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案） なし	「⑤2024年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案） なし
08-1グローバルキャンパスセンター	適切に評価されている。	適切な総括である。	特になし。	適切に総括されている。	特になし。
09-1ラーニングセンター	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案） なし	「③2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案） なし	「④2023年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案） なし	「⑤2024年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案） なし
10-1教職支援センター	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は妥当である。 （指摘・改善への提案） なし	「③2024年度アジェンダ」の内容は妥当である。 （指摘・改善への提案） なし		
11-1ボランティア活動支援センター	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は妥当である。 特に、従来つながりのあった団体だけではなく、新たな関係作りに積極的に取り組み、成果を上げたことは大いに評価できる。 （指摘・改善への提案） なし	「③2024年度アジェンダ」の内容は妥当である。 （指摘・改善への提案） 引き続き、外部組織との連携を進めるとともに、学生エンカレッジセンターをはじめとする学内連携も期待したい。	「④聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」の内容は妥当である。 （指摘・改善への提案） なし	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」の内容は妥当である。 （指摘・改善への提案） 学内で取り組めるボランティア活動プログラム、能登半島地震災害ボランティア活動の推進など、新たな取り組みにも期待したい。
12-1地域連携・教育センター	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案） なし	「③2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案） なし	「④2023年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案） なし	「⑤2024年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案） なし

2023年度自己点検・評価（全学評価委員会確認・評価）

自己点検評価を行う組織	「①自己点検評価」の点検結果・所見	「②2023年度アジェンダ総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「③2024年度アジェンダ」に対する所見（指摘・改善への助言）	「④聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」に対する所見（指摘・改善への助言）
13-1教育開発センター	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 特に、自己点検評価について、アセスメントテストのPROGテストからGPS-Academicへの変更、およびTOEIC Bridgeの新形式への変更がなされた際に、各学科から意見を聴取し、学内での評価基準および評価指標の見直し案が策定されたことは、適切に内部質保証プロセスが機能していることを示している。	「③2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 2023年度生の1年次DP学修度の傾向を踏まえた、カリキュラムマップの自己点検が予定されていることなど、改善が継続的、かつ適切に対応されていることが理解できる。	「④2023年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 2022年度より取り組まれてきた教育開発センター提供の新規初年次教育プログラムの全学共通科目「グローバルシティズンシップ論」（選択科目）として開講されることは、それをよく示す事例であると言える。	「⑤2024年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 開講される「グローバルシティズンシップ論」（選択科目）の履修者の満足度などについての調査を継続していただきたい。
14-1サステイナビリティ推進センター	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は妥当である。 （指摘・改善への提案）なし	「③2024年度アジェンダ」の内容は妥当である。 （指摘・改善への提案）なし	「④聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」の内容は妥当である。 （指摘・改善への提案）なし	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」の内容は妥当である。 ESDの実装に向けた取り組み、高大連携に向けた取り組みに期待する。 （指摘・改善への提案）なし
15-1大学広報センター	適切に評価されている。	適切な総括である。	特になし。	適切に総括されている。	前年度総括をふまえた適切なプランになっている。着実に遂行されることを期待する。
16-1IR室	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案）なし	「③2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案）なし	「④2023年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案）なし	「⑤2024年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案）なし

2023年度自己点検・評価（全学評価委員会確認・評価）

自己点検評価を行う組織	「①自己点検評価」の点検結果・所見	「②2023年度アジェンダ総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「③2024年度アジェンダ」に対する所見（指摘・改善への助言）	「④聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」に対する所見（指摘・改善への助言）
17-1入試部	自己点検・評価内容は妥当である。	「②2023年度アジェンダ総括」について気付いた点を以下に挙げる。 入試広報にかかわる多くの点について改善が果たせなかった点も含め真摯に次年度につなげるための振り返りがなされている。 （指摘・改善への提案） Q6, Q7に関しては評価として必ずしも順調とはいえず、問題点の振り返りがなされ、次年度に向けた改善へつなげることが望まれる。	「③2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 目標や行動指針が明示され、入試部として方向性が明確である点は評価できる。 （指摘・改善への提案） 募集状況の改善によりQ6やQ7の状況も向上すると予測されるが、これらに特化した形での課題の洗い出しなどの活動も行われることが望まれる。	「④2023年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 多くの点についてできたものと達成できなかった点の振り返りが確実になされいて宇。 （指摘・改善への提案） 特にはないが、記述内容として「01F1」について、23年度が終わった時点での振り返りがなされるとよい（現状では24年度入試の12月状況の評価となっているため）。	「⑤2024年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への提案） 「01G1」は2023年度において達成率が「100%」となっているが、本学や大きくは日本の状況により、再検討の余地も出てくると考えられる。今後も継続した検討の機会が設けられるとよい。「01H1」においては記されているように入試部だけでなく、学科を巻き込んだ検討の機会が必要であるとも考えられる。2024年度においても達成に向けた動きが始められるとよい。
18-1教務部	「①自己点検評価」結果の内容は妥当である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は適切である。	「③2024年度アジェンダ」の内容は妥当である。	「④聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」の内容は適切である。	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」は妥当である。
19-1学生生活部	自己点検・評価内容は妥当である。 「Q1 2」への回答の中で触れられている疑義は首肯できる。引き続き学生生活部として在学生の離学対策へのご提案をお願いしたい。 （指摘・改善への助言） なし	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言） なし	「③2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言） なし	「④2023年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言） なし	「⑤2024年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言） なし
20-1キャリアデザイン部	「①自己点検評価」の内容は適切である。	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は適切で、詳細かつ具体的に記載されており、目的別の総括がなされて次年度計画につながっていると思われる。	「③2024年度アジェンダ」は適切である。	「④聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」の内容は妥当である。	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」は妥当である。

2023年度自己点検・評価（全学評価委員会確認・評価）

自己点検評価を行う組織	「①自己点検評価」の点検結果・所見	「②2023年度アジェンダ総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「③2024年度アジェンダ」に対する所見（指摘・改善への助言）	「④聖学院ビジョン2023年度自組織プラン総括」に対する所見（指摘・改善への助言）	「⑤聖学院ビジョン2024年度自組織プラン」に対する所見（指摘・改善への助言）
21-1FD・SD委員会	自己点検・評価内容は妥当である。 ご指摘の通り、教員のICT活用についての実行プランの項目については、今日的な課題に応える有効な問いになっているかの再検討ならびに新たな目標設定が課題であるという問題が提起されていることを関連部署と連携して解決する必要がある。 （指摘・改善への助言） なし	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 Q2について、これまでもさまざまな勉強会を開催されており（評価者も複数回参加させて頂いた）、教員の学びの場を提供しているといえる。 （指摘・改善への助言） なし	「③2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 Q3の実効性は、企画立案とその企画への参加協力が不可欠である。特に教員の参加を促すための工夫を引き続き取り組んで頂きたい。 （指摘・改善への助言） なし	「④2023年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言） なし	「⑤2024年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言） なし
22-1大学総務課	自己点検・評価内容は妥当である。 （指摘・改善への助言） なし	「②2023年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言） なし	「③2024年度アジェンダ総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言） なし	「④2023年度自組織プラン総括」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言） なし	「⑤2024年度自組織プラン」の内容は概ね妥当である。 （指摘・改善への助言） なし